

# 令和7年度 第2回 大阪府立枚方高等学校学校運営協議会 議事録

日 時 令和7年11月21日(金)  
14時～15時30分  
場 所 本校 図書室

## 1 校長挨拶

(校長)文化祭も終え、本校生徒の満足度をさらに上げていきたいと考えている。教職員それぞれが具現化に取組み、成果を挙げている。生徒と一緒に楽しく感じられるようになり、学校教育を実践しているところである。

## 2 出席者紹介 委員 5名(堅田 利明、西村 英理、白井 美砂、高田 茂、宮秋 昌浩)(敬称略) 学校側 9名

## 3 会長選出、実施要項確認

## 4 事務局より

### (1) 校長より 資料

・現在の学校生活について

生徒主体の行事が活発化している。

授業では、教員が問い合わせを投げかけたり、生徒も自ら問い合わせを立てたりと、それぞれ工夫を凝らして行われている。先週、教育庁幹部や指導主事に、英語の少人数展開授業をご覧いただいたところ、好評であった。

今年度も3年生は、進路を決定した生徒を対象にTOEIC受験等の取組みを行っている。

広報活動も活発に行われている。

中庭の芝生を有効活用している。

令和11年度の文理探究科への改編にあたって、準備に向けた活動を、組織的に行っている。

・DXハイスクール事業について

什器の整備状況と活用状況、他校視察等の現状を報告。

### (2)教務部より 資料

・来年度の教科書選定について 報告

### (3)進路指導部より 資料

(別紙)

### (4)その他

生徒部より

体育祭の行事の改革について  
文化国際部より  
英検の受験拡大、合格者も増加傾向  
海外姉妹校提携の進捗状況  
人権推進委員会より  
人権に対する指導について(講演等)

## 5 協議、意見交換

学校経営に関する進捗状況の概要より

(意見)校長先生がおっしゃっていた、「本校生徒は本当に良い生徒です」という表現は、特に共感できた。

貢献活動について

(意見)枚方高校生徒と部活動で交流できたことがとても良い経験になった。

貢献活動を通じて自主性が生まれていると感じる。

(意見)生徒に気付かせること、考えさせることを尊重して教育活動を行っていることに感動した。

Q. 小中学校ではデジタル教科書をどのように活用しているか。

A. 高校ではすべての教科で活用している。

Q. 紙の教科書から移行するのか。

A. すべてではない。教科の特性にもよる。

Q. 大阪府が改修の工事を予定していると聞いたが枚方高校はどうなるのか。

A. 枚方高校も予算が確保出来たら計画を立てたい。

各箇所を隨時、速やかに改修している。

Q. 不登校の生徒はどのくらいの人数がいて、どのような対応を行っているのか

A. 本校の不登校生徒は比較的少ない。遠隔授業等を行い対応している。教務部や生徒支援委員会が共通理解を考えながら対応は進めている。

学校生活への対応については、生徒の諸事情を考慮し、要望にも応えつつ考えている。

(意見)中高でフォローしていただいた生徒は、大学で踏ん張っている感覚がある。

※スクール・ポリシー及び学校特色枠の内容については、委員の皆様の承認を得た。

## 6 その他

### 資料

- 1 大阪府立枚方高等学校 学校運営協議会 実施要項
- 2 学校経営に関する進捗状況(概要)
- 3 令和10年度以降のスクール・ポリシーについて
- 4 令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜における学校特色枠について
- 5 DX ハイスクール関連
- 6 教務部より
- 7 進路指導部より
- 8 英語検定の合格者数等について